

## 減災のための目標(案)について

## ■平成27年9月豪雨を踏まえた主な課題

課題①：堤防決壊にともなう氾濫流による家屋の倒壊・流失

課題②：地方公共団体による避難判断、広域避難

課題③：避難の遅れと長時間・広範囲の浸水による多数の孤立者の発生

## ■関東・東北豪雨の雨域が仮に西側に30kmずれていたら...

① 堤防越水、破堤など、**大規模水害発生の可能性が高い。**

② 最上川や沿川地域が**どのような状況になるのか、想像が難しい。**

- 昭和42年8月の羽越水害以降、大規模水害を未経験である。
- 浸水範囲や浸水深がハザードマップ以上となる可能性があるが、その程度が不明である。
- 避難所の浸水、避難所へ行けない可能性がある。

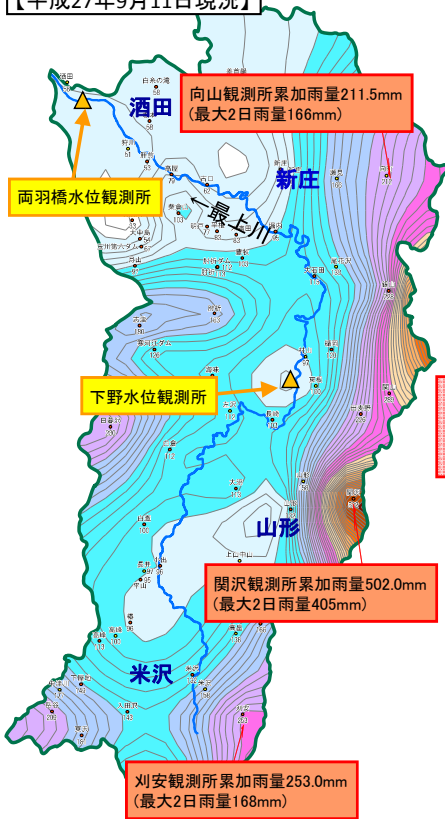
③ 住民は、各種情報に基づき、**自らの命を自分で守る必要性が生ずる。**

- 施設能力を上回る洪水の発生、行政対応能力を上回る事象が発生する可能性がある。
- 住民が、命を守る的確、かつ主体的な判断を行う必要がある。

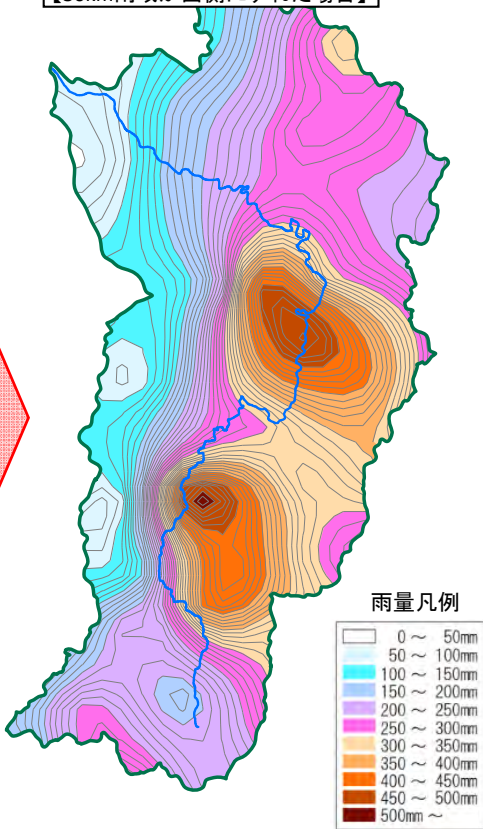
# 平成27年9月 関東・東北豪雨を想定した課題

- 関東・東北豪雨の雨域が仮に西側に30kmずれていた場合、下野地点で昭和42年8月洪水、両羽橋地点で昭和44年8月洪水の整備計画目標と同等規模の洪水が発生し、流域世帯数の約1割にあたる27,600世帯の家屋浸水・約8600億円の被害が発生していた可能性があります。

等雨量曲線  
【平成27年9月11日現況】



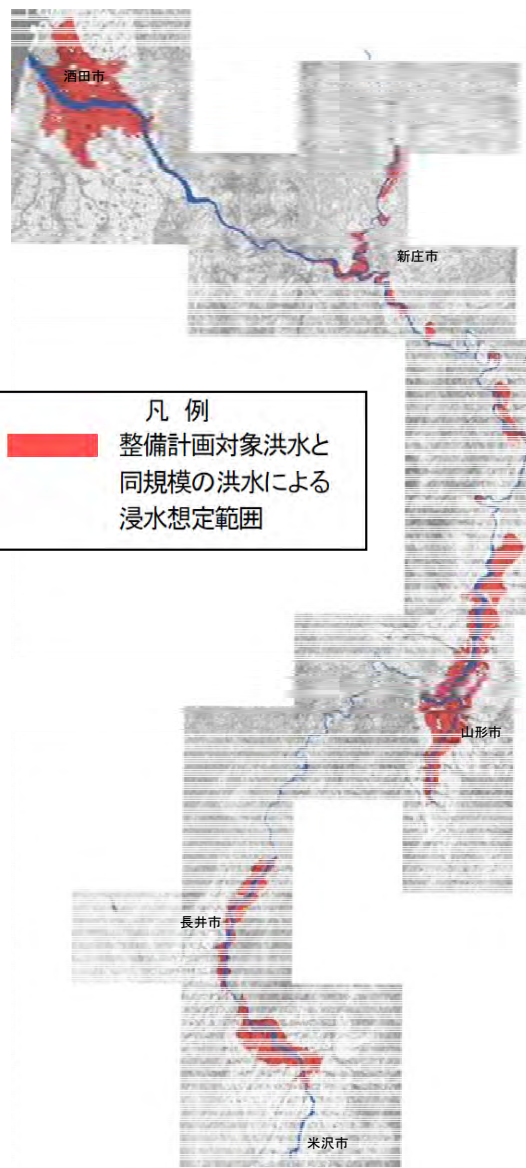
等雨量曲線  
【30km雨域が西側にずれた場合】



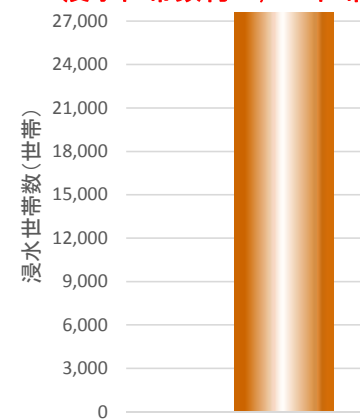
昭和42年8月羽越豪雨写真【長井市】



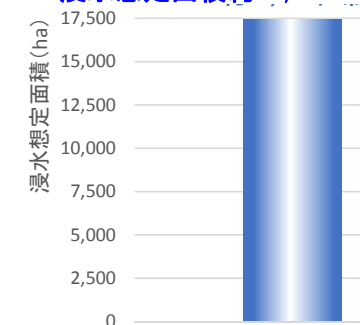
平成27年度現況河道に平成27年9月関東・東北豪雨の雨域が仮に西側に30kmずれていた場合の浸水被害



浸水世帯数約27,600世帯



浸水想定面積約17,400ha



## ○5年間で達成すべき目標(案)

～来年は羽越水害から50年～「忘れない、水害への備え」  
近年多発する水害や平成27年9月関東・東北豪雨発生を踏まえ、  
昭和42年羽越水害を上回る大規模水害発生に対して、流域20市  
町・山形県・国が連携し、『避難の迅速化、被害の最小化、日常  
生活の早期回復』を目指す。

## ○目標達成に向けた3本柱の取組

河川管理者が実施する堤防整備等の「洪水を安全に流すためのハード対策」、「危機管理型ハード対策」に加え、「住民目線のソフト対策」として、以下の取組を実施する。

1. 住民が自ら安全に避難するためのリスクコミュニケーション
2. 洪水氾濫による被害の軽減対策、避難時間の確保のための水防活動の強化
3. 一刻も早い生活再建、及び社会経済の回復のための排水活動の取組み



# 避難行動を促すための取組事例① ～住民等への周知・教育・訓練～

- ・ 平時から住民等への防災知識の普及啓発・避難行動の周知・教育・訓練  
～まるごとまちごとハザードマップ、災害情報パネル展、出前講座の実施～

## まるごとまちごとハザードマップ

- 住民、自治体と連携して、実際にまちなかを点検し、「洪水ハザードマップ」の情報を現地に表示するなど、地域防災力の向上を図る。  
実施市町：長井市、天童市、中山町、河北町、南陽市、川西町、大江町



地図を使い、避難ルート危険箇所を検討



検討マップを基に実際にまちを歩き、点検を実施

## 災害情報パネル展示

- 地域で開催するイベント等に協力し、水害や土砂災害の情報展示を行い、防災に対する意識高揚を図る。  
実施市町：山形市



「ゲリラ豪雨展」(H27年8月)



「かわとぴあ2015in山形」(H27年9月20日)  
震災・洪水等のビデオ上映、水害等のパネル展

## 出前講座、災害体験学習

- 地域の学校や団体の要望に応じて、河川事業への理解と地域づくりへの意識の啓発等、支援を行う。  
実施市町：米沢市、寒河江市



「出前講座」(H27年11月9日)



災害体験学習「次世代に伝える防災術」  
(H27年6月)



# 避難行動を促すための取組事例② ～自治体の災害対応能力の向上～

- ・ 平時から自治体等への防災知識の普及啓発・避難行動の周知・教育・訓練  
～トップセミナー、共同点検、洪水危機管理演習で自治体の災害対応能力を向上～

## トップセミナー、共同点検

- トップセミナー、自治体との共同点検を実施



## 洪水対応危機管理演習

- 自治体職員を対象に、洪水が発生した際の危機管理演習(ロールプレイング方式)を実施  
実施市町: 米沢市、南陽市、高畠町、川西町  
長井市、小国町、白鷹町、飯豊町



最上川上流危機管理演習実施状況 [平成27年11月19日]



# 水防活動の強化に関する取組事例① ～関係機関、地域との連携～

- 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項  
 合同巡視、共同点検の実施、関係機関による連絡会の開催を実施

## 連絡会の開催



洪水予報・水防連絡会・災害情報普及協議会

## 重要水防箇所の合同巡視



水防管理団体(山辺町)との重要水防箇所合同巡視



山形市長に参加いただいた重要水防箇所合同巡視

## 危険箇所・重点監視箇所の共同点検



区長等との意見交換の様子



船町地区の代表の方々との現地共同点検

**危険箇所表示板** <対象基準観測所：船洗>

危険箇所には住民への情報提供と危機意識啓発を目的に危険箇所表示板を設置



# 排水活動の強化に関する取組事例① ～円滑、迅速な排水の実現～

## ・出水に備えた「排水ポンプ車」の排水訓練、排水資機材の整備

### ○排水ポンプ車設置、排水訓練（平成27年）



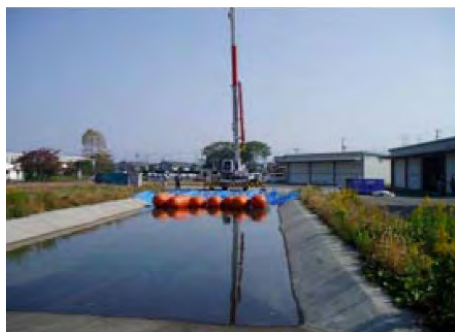
### 寒河江出張所通信 平成24年5月1日

■排水ポンプ車設置訓練を実施  
～地域住民など約40人が参加～  
（天童市蔵増地区）

- ・4月27日（金）天童市蔵増地区にある樽川排水樋門において、排水ポンプ車の設置訓練を行った。
- ・この訓練は、この地域に住む住民の要望により天童市からの要請を受けて実施、自治体関係者など約40名が参加した。
- ・訓練では、ポンプ車及びクレーンの設置場所の確認から始まり、ホースの設置～ポンプの投入～撤収まで一連の作業を見学してもらいながら、意見を頂いた。

### ○大規模災害時の災害対策用機械の操作実習

災害対策車の広域的な運用に向けて、東北地方整備局全体で実施



設置状況



排水状況



照明車

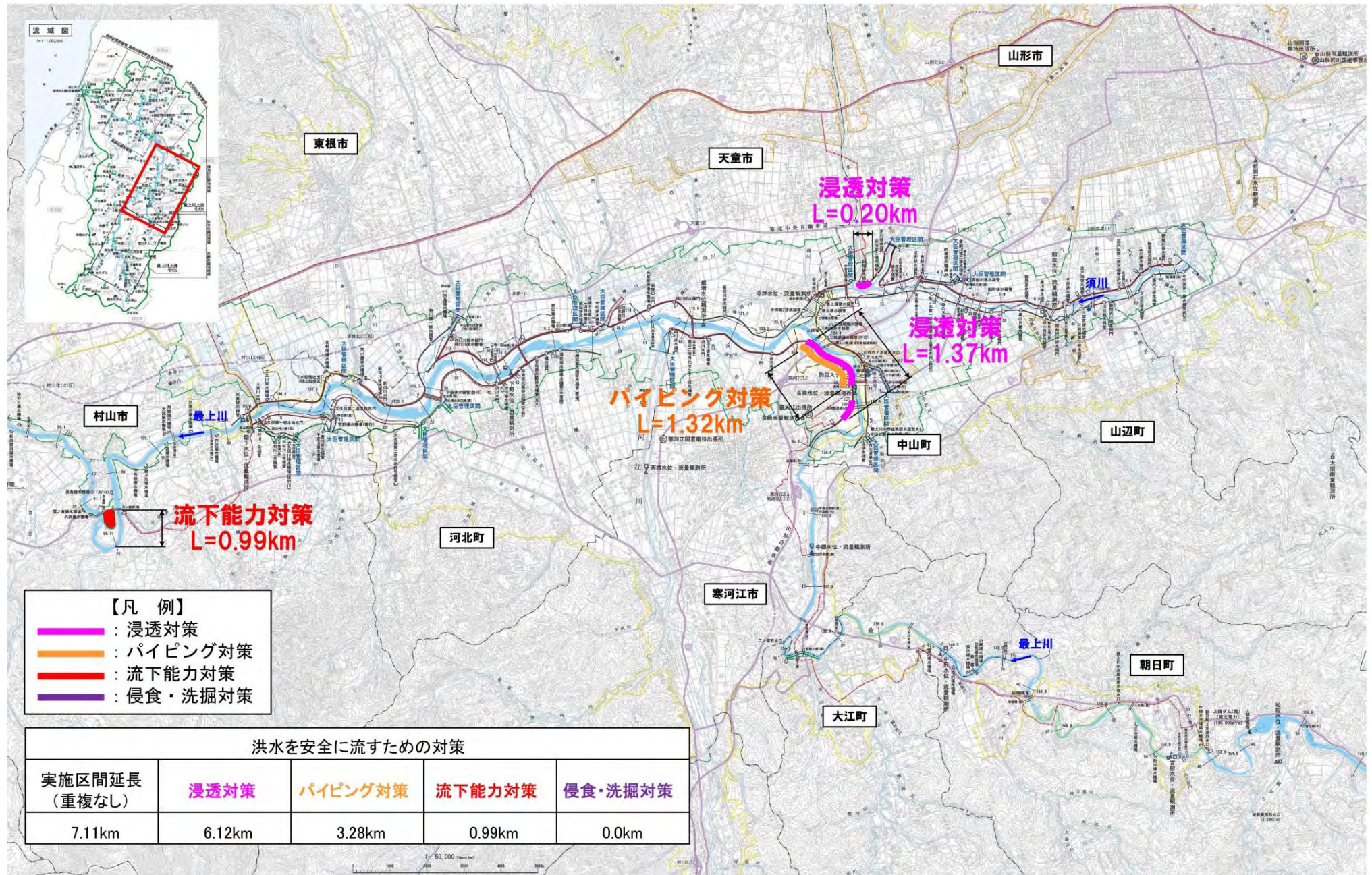


設置作業の様子



# 堤防等河川管理施設の今後の整備内容①

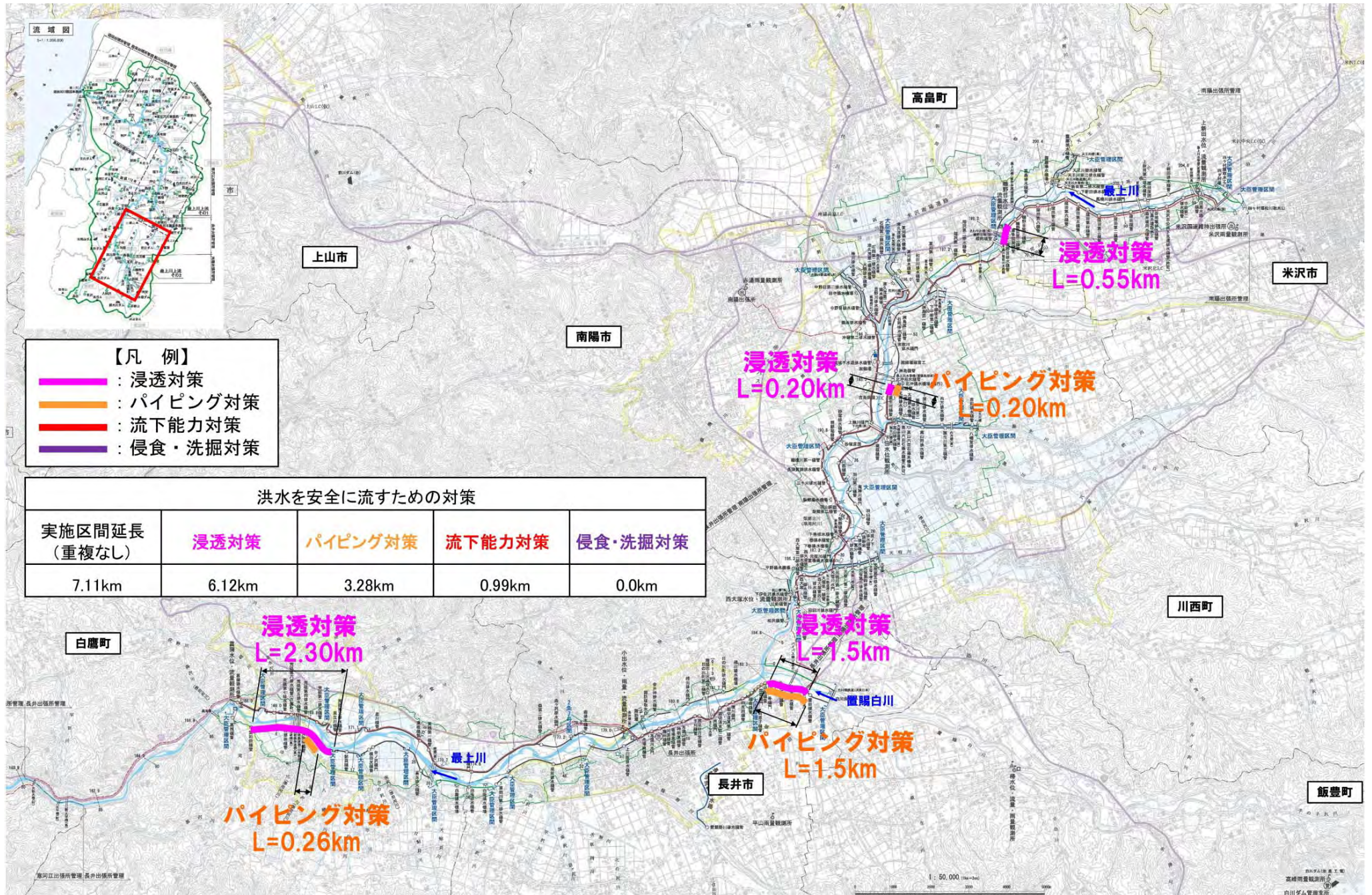
○「洪水を安全に流すためのハード対策」として、堤防整備を実施。



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況によって変わる場合があります。



# 堤防等河川管理施設の今後の整備内容①

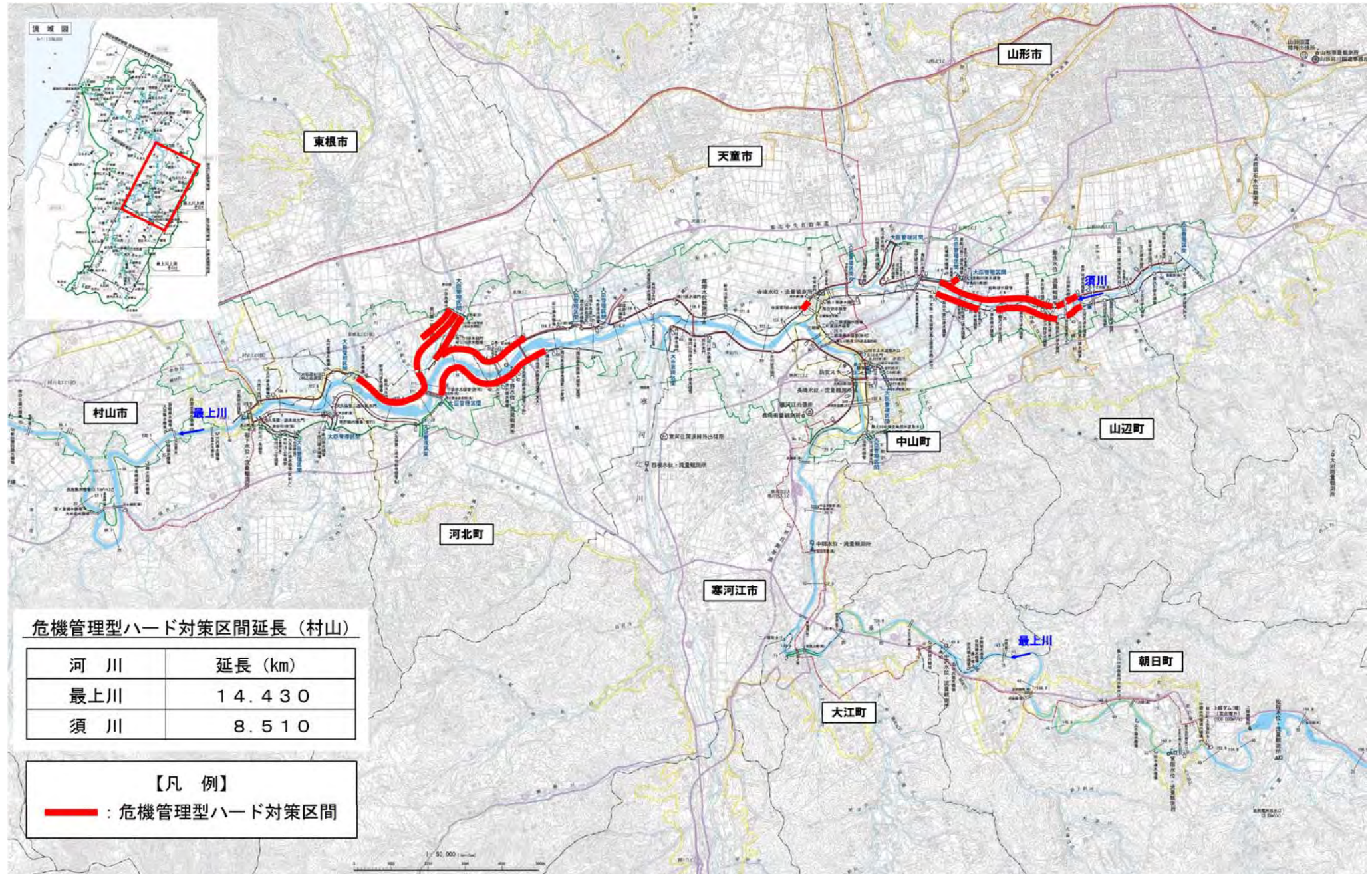


※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況によって変わる場合があります。



# 堤防等河川管理施設の今後の整備内容②

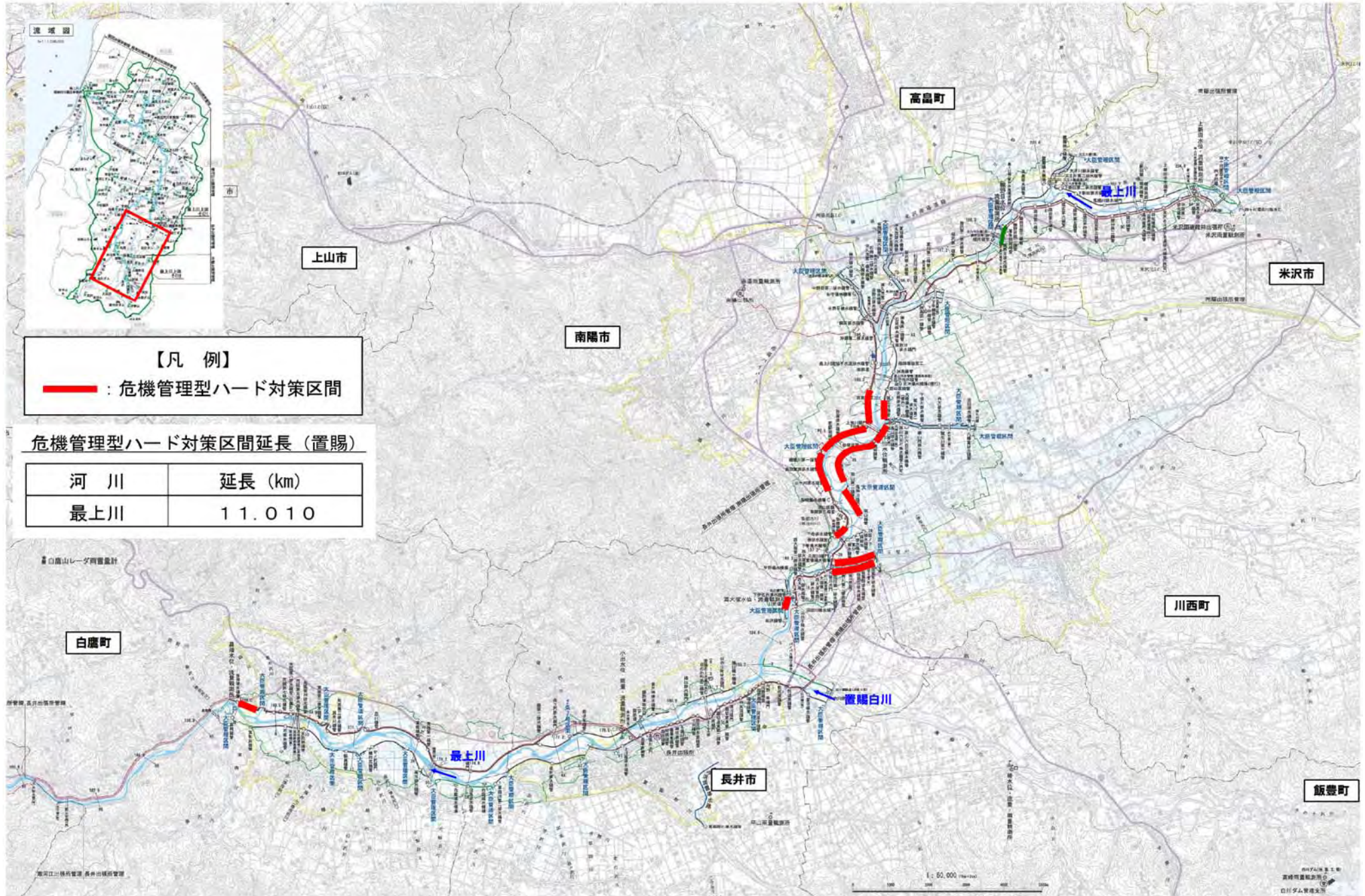
○「危機管理型ハード対策」として、決壊までの時間を引き延ばす堤防整備を実施。



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況によって変わる場合があります。



# 堤防等河川管理施設の今後の整備内容②



※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況によって変わる場合があります。